

東日本大震災から5年、 日常に戻りつつある 石巻市



石巻キャラクター
いしびよんといしびい

皆さんこんにちは。宮城県石巻市からお便りします。私は、昨年4月に府中市役所から派遣され、石巻市役所の「建設部道路課」に所属している檀上だんじょうです。

道路課の主な仕事は、被災した道路や橋の復旧、復興に向けた新しい街づくりのための道路整備などの設計や、工事の発注・監督業務です。道路課では、地元職員と全国からの派遣職員が協力して業務を行っています。

さて、私が働く石巻の復旧・復興の状況ですが、平成27年の大きな出来事として、JR仙石線の全線運転の再開、まちびらき、石巻魚市場の完成などがありました。写真を交えて、少しですがご紹介いたします。（写真提供：石巻市）



▷石巻魚市場
東日本大震災での被災後、大規模な復旧事業が行われていた石巻魚市場が昨年9月に完成しました。全国でも最大級の施設で、“さかなのまち”石巻の復興のシンボルとして期待されています。

石巻魚市場には世界三大漁場と呼ばれる三陸・金華山沖からも、豊富な魚介類が水揚げされます。石巻市内でも、三陸・金華山沖の魚介類を食べられる店がたくさんあります。



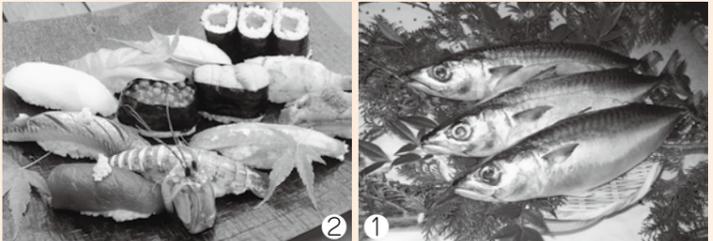
▷JR仙石線
震災により一部不通となっていたJR仙石線が、昨年5月に全線運転を再開し、同時に仙石東北ラインも開業しました。石巻から仙台までを最短52分で結び、大変便利になりました。



▷まちびらき
防災集団移転先として、宅地整備が行われている新市街地に居住する方々の一体感や、地域コミュニティの構築を図るための「まちびらき」式典が、昨年11月に開催されました。新市街地では2020年までに約7,000人が暮らす予定です。

整備前

整備後



- 石巻名産品
①金華さば
②金華寿司
③石巻焼きそば

最後に、石巻では震災前の日常を取り戻しつつあります。しかし、被災地では、今もさまざまな支援を必要としています。

震災は過去の事と思わず、被災地へ関心を持ち続けることも支援の一つだと私は思います。石巻の現状を知っていただくきっかけとして、府中市の皆さんもぜひ、石巻で世界三大漁場の三陸・金華山沖で取れたおいしいお魚を味わってみてはいかがでしょうか。そして、災害は、いつ起こるか分からないということを、忘れないでほしいと思います。